

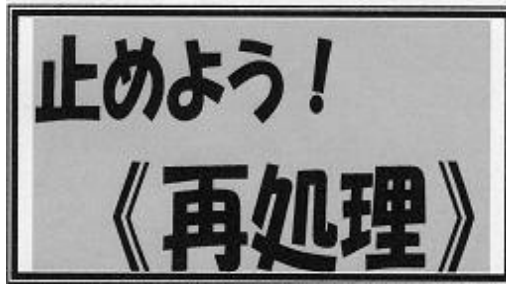
# 三陸の海を放射能から守る 岩手の会

ミニコミ通信 第13号

ホームページ

《岩手の環境/RI廃棄物/再処理》

郵便振替 02240-5-102650



2006(平成18)年

2月 17日

編集事務局 S.Oshida

電話・ファックス

019-623-1636

# 三陸の海に放射能はこまる!

## 各地で学習会開催 こまる こまる こまる 「小○」の声

豊かな三陸の海を守る会「主催の学習会が一月二十七日(金)夜六時半から、宮古市磯鶏公民館ホールで、約五十人を集めて開催されました。岩手の会「代表永田文夫世話人は、六ヶ所の再処理工場の放射能排水はイギリスセラフィールド工場の場合と同じように深刻な被害をもたらすことを説明しました。三陸の海が気に入って山



《風評被害》を避けるためにも  
いまのうちに正しい情報を  
宮古学習会開催

田を定住地とした研究者から、ダイオキシンの似ている放射性物質の性質(挙動)という問題提起がありました。参加者から沢山の発言がありました。中学教師 六ヶ所工場の話をしたら、生徒は、漁師だけでなく海産物加工場や運送業、観光業も大打撃を受けるのではという感想を述べた。主婦「この問題を最も分かったのは食事を扱う主婦層だと思ふ。女性の講師を招いて学習会をやってほしい。」小学校教師「巻バクシヤ」の映画上映を行った。体に入り込んで被害をもたらす放射能汚染について学習しよう。漁業者 今日は十数人の漁業関係者が参加している。是非、当事者漁民の問題にしていこう。漁民出身の議員「風評被害」は避けねばならない。しかし、本当に放射

能が流されてしまわないように、みんなで反対の声をあげるべきだ。」

田村剛一会長は閉会の挨拶で「昨日、岩手の十五の市民団体代表とともに青森県庁を訪れ要請してきました。面談した県資源課長は知事に伝えると回答しましたが、三陸漁民が反対するのは、地域のエゴである」と反論しました。放射能はイヤだ」と言うのがどうして地域のエゴなのでしょう。原燃は情報公開を言っていますので、公開討論会は是非必要です。そして、みんなの力で、三陸の海を守りましょう。」と力強く述べました。おおよそ二時間ほどで学習会は終了しました。

### 宮古市議、漁協関係者学習会

三〇余人出席

宮古市議・漁協関係者学習会は、九日、宮古市内「なード」で開催され、宮古市議一人、山田町議二人、漁協関係者など約三十人が出席しました。会ではセラフィールド周辺十二カ国が英国に中止を要請している六ヶ所工場も同じ危険が予想される」とし、市議会決議をめざすことになりました。

日本科学者会議  
岩手支部研究会



一月三十一日、岩手大学において 六ヶ所再処理工場について研究討議の会が開催されました。岩手の会「から永田文夫さんが発表し、青森支部から小山内孝氏も現状報告をしました。三時間余に渡り意見が交わされ放射能汚染を回避するため力を尽くすことが確認されました。

